

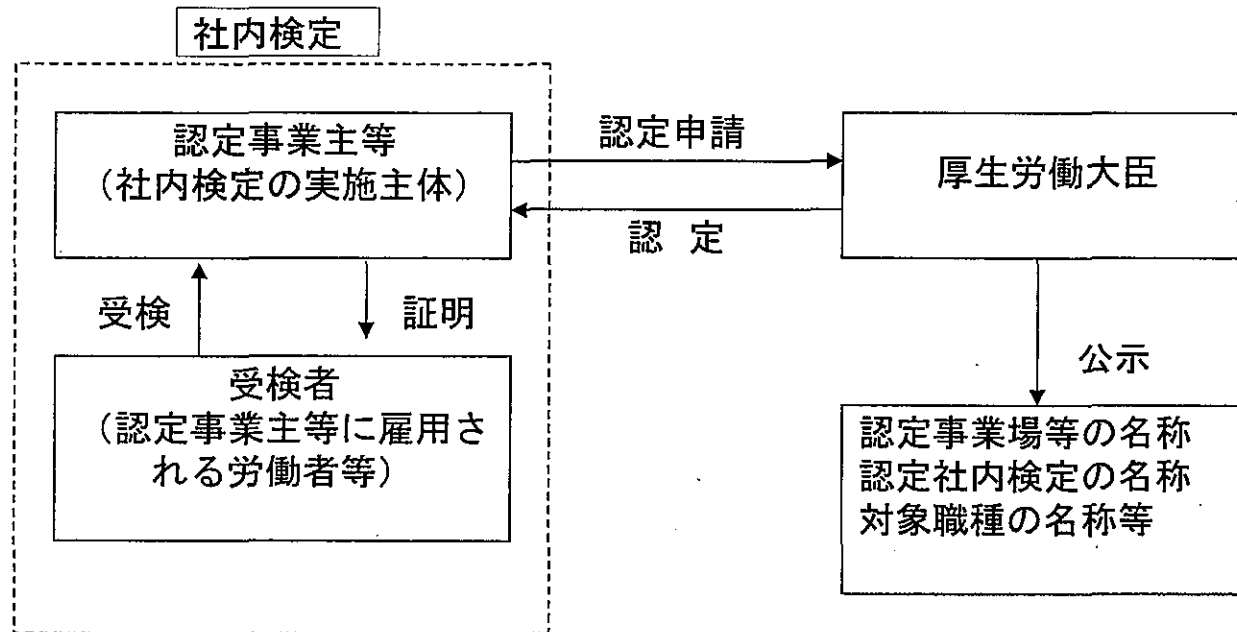
社内検定認定制度について

1 制度の概要

社内検定認定制度は、事業主又は事業主団体等が、その雇用する労働者等の技能の向上と経済的社会的地位の向上に資することを目的に、労働者が有する職業に必要な知識及び技能について、その程度を自ら検定する事業(すなわち社内検定)のうち、一定の基準に適合し、技能振興上奨励すべきものを厚生労働大臣が認定するものである。

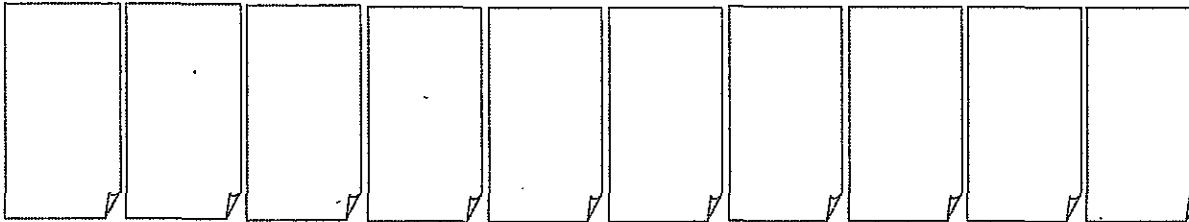
職種等は、平成17年4月現在38事業主等130職種である。

2 制度の流れ



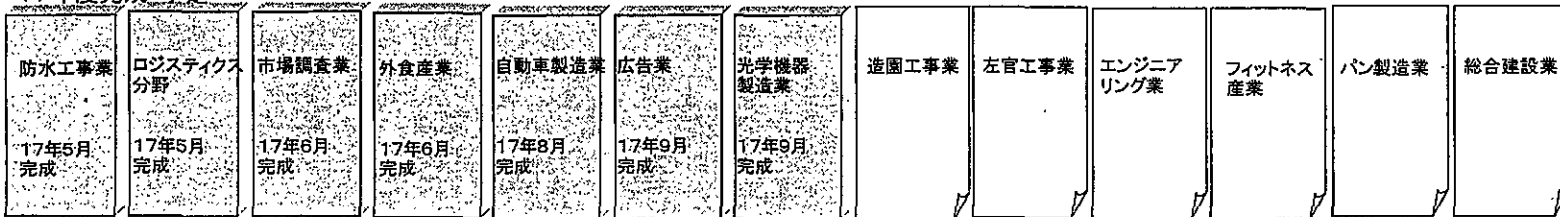
能力評価基準の策定取組み状況

18年度以降拡充予定

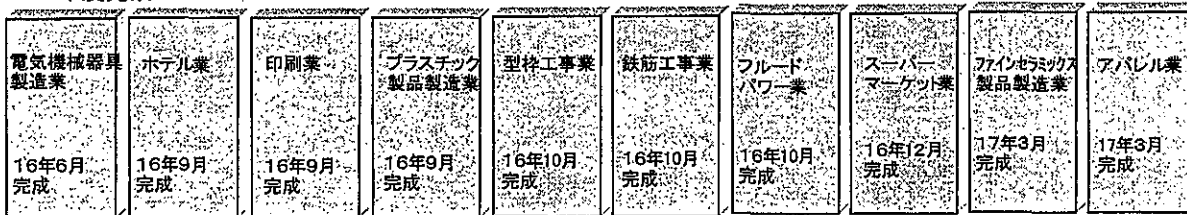


...

17年度完成・予定



16年度完成



業界ごとの専門的な職務

業種横断的な事務系職務



各種技能大会資料

技能五輪全国大会について

1 大会概要

技能五輪全国大会（以下「全国大会」という。）は、国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えると同時に、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性、必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的として、昭和38年から開催されている。

また、隔年で開催されている技能五輪国際大会の前年の全国大会において、優秀な成績を収めた者が国際大会に派遣されている。

2 主催団体

中央職業能力開発協会及び開催地の都道府県

3 参加資格

都道府県ごとに実施される技能五輪予選大会において優秀な成績を修めた者、又は優秀な技能を有すると認められる者として都道府県職業能力開発協会から推薦された者。

4 競技職種

国内の青年技能者の技能水準の向上と技能尊重気運の醸成に資するものと認められる職種を実施。

5 開催状況

第40回大会（平成14年度）熊本県	（職種数：34、参加選手数：781人）
第41回大会（平成15年度）新潟県	（職種数：34、参加選手数：974人）
第42回大会（平成16年度）岩手県	（職種数：42、参加選手数：1,068人）
第43回大会（平成17年度）山口県	（職種数：43、参加選手数：1,094人（予定））
第44回大会（平成18年度）香川県	

第43回技能五輪全国大会及び第28回全国障害者 技能競技大会（山口大会）について

1 大会概要

両大会は平成17年10月28日（金）から10月31日（月）までの間、山口市を中心に開催される。このうち技能五輪全国大会は43職種について23歳以下の青年技能者が技能レベル日本一を競う。また、全国障害者技能競技大会（以下「アビリンピック」という。）は23職種について障害のある人が技能を競い、職業技能分野における社会参加を促進するものである。

両大会は、大会史上初めて同時開催される。全国の優秀な青年技能者と障害のある技能者が、同時期・同一地域に結集し、それぞれが日頃の鍛錬の成果を競い合うことで、若年層を中心として広く国民が優れた技能に身近に触れる機会を提供するなど、技能の重要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資するとともに、同時開催の特色として、青年技能者と障害のある技能者をはじめとする大会関係者・参加者の交流と相互理解を深めることを目的としている。

2 主催団体

中央職業能力開発協会、独）高齢・障害者雇用支援機構、山口県

3 開催地

山口県山口市等

4 参加資格

（技能五輪）

都道府県ごとに実施される地方予選大会で、優秀な成績を収めた満23歳以下の者で、各都道府県職業能力開発協会に推薦された者。

（アビリンピック）

都道府県ごとに実施される地方予選大会で、優秀な成績を収めた者等で、各都道府県知事の推薦を受けた者。

5 競技職種予定

（技能五輪）

機械組立て、メカトロニクス、建築大工など43職種（1,094名参加予定）

（アビリンピック）

家具、コンピュータプログラミング、洋裁など23職種（270名参加予定）

6 日程概要

第1日	10月28日（金）	開会式（14:00～15:30）
第2日	29日（土）	競技1日目
第3日	30日（日）	競技2日目
第4日	31日（月）	閉会式（10:00～12:00）

技能五輪国際大会の日本選手団の成績

回	出場 選手数	日本のメダル獲得数			金メダル獲得上位3カ国・地域名
		金	銀	銅	
第11回	8	5	1	—	1位スペイン 2位日本
第12回	14	10	—	2	1位日本 2位アイルランド 3位西ドイツ
第13回	17	12	4	—	1位日本 2位イギリス 3位ポルトガル、スペイン
第14回	19	6	5	2	1位イギリス 2位日本 3位スペイン
第15回	20	9	3	2	1位日本 2位オランダ 3位イギリス、イタリア
第16回	20	5	7	2	1位スペイン 2位日本 3位西ドイツ
第17回	20	6	2	5	1位スイス 2位日本 3位韓国
第18回	23	9	2	4	1位日本 2位スイス 3位西ドイツ
第19回	30	17	4	3	1位日本 2位西ドイツ、韓国、スイス
第20回	26	10	3	5	1位日本 2位スペイン、スイス
第21回	27	5	5	8	1位西ドイツ 2位韓国 3位日本、スイス
第22回	26	4	7	5	1位スイス 2位韓国 3位スペイン 4位日本
第23回	26	7	4	3	1位韓国 2位西ドイツ 3位日本
第24回	27	1	5	6	1位韓国 2位スイス 3位オーストリア他3カ国 7位日本
第25回	28	7	8	1	1位韓国 2位日本 3位スイス
第26回	28	5	8	4	1位韓国 2位日本 3位スイス、西ドイツ
第27回	28	4	5	4	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位オーストリア 4位日本
第28回	34	11	8	4	1位韓国 2位日本 3位チャイニーズタイペイ、スイス
第29回	30	6	—	3	1位韓国 2位日本 3位チャイニーズタイペイ、他2カ国
第30回	27	3	6	1	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位オーストリア 5位日本
第31回	26	4	2	2	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位オーストリア 4位日本
第32回	27	2	6	5	1位チャイニーズタイペイ 2位韓国 3位ドイツ 4位日本
第33回	28	4	3	1	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位日本、ドイツ、 スイス
第34回	29	2	—	4	1位韓国、 2位チャイニーズタイペイ、スイス 8位日本
第35回	34	6	3	2	1位チャイニーズタイペイ、韓国 3位日本
第36回	33	4	2	4	1位韓国 2位ドイツ 3位日本、オーストリア
第37回	34	6	2	4	1位韓国 2位スイス 3位日本
第38回	36	5	1	2	1位日本、スイス、南チロル・イタリア 4位ドイツ、フィンランド 6位韓国他3カ国

技能グランプリについて

1 概要

技能グランプリは、技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その熟練した技能を広く国民に披露することにより、その地位の向上と技能の振興を図ることを目的として、昭和56年度より毎年開催されている（平成14年度からは隔年開催）。

2 主催団体

中央職業能力開発局会及び(社)全国技能士会連合会

3 参加者

各都道府県から選抜（年齢制限無し）された特に優れた技能を有する一級技能士等（単一等級含む）。

4 競技職種

技能士の地位向上と技能の振興に資するものと認められる職種を実施。

5 開催状況

第21回大会（平成13年度）島根県（職種数：27、参加選手数：459人）（初めての地方開催）

第22回大会（平成14年度）中央（職種数：29、参加選手数：436人）

第23回大会（平成16年度）中央（職種数：30、参加選手数：446人）

第24回大会（平成18年度）中央（予定）

若年者ものづくり競技大会について

1. 開催趣旨

職業能力開発施設、認定職業訓練施設、工業高校等において技能を習得中の20歳以下の若者に対して技能レベルを競う場を提供することにより、これら若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的とする。

2. 主催

中央職業能力開発協会

3. 第1回大会開催日程

平成17年8月26日(金):開会式

8月27日(土):職種別競技、技能五輪成績優秀者によるデモンストレーション、表彰式・閉会式

4. 競技職種

旋盤、フライス盤、機械製図(CAD)、電子回路組立て、建築大工、木材加工(家具・建具)、電気工事、工場配線、情報ネットワーク施工、メカトロニクス、自動車整備及びウェブデザイン 計12職種

5. 参加選手数

203名(職業訓練施設58名、工業高校92名、専修学校等その他学校33名、企業関係20名)